

# 旧野洲川の自然林観察会

森の木の実や落葉・鳥を観察して  
木の実も食べてみよう

市三宅地先の旧野洲川北流の中堤防には豊かな森が残っています。ここで今回、季節の植物と鳥の観察会を行います。みんなでムクノキやクルミの実などを探して、おいしく食べる体験も予定しています。



日時...11月16日 午前9時～正午 少雨決行

会場...市三宅地先の旧野洲川北流付近に集合(参加者には後日地図を送付します)

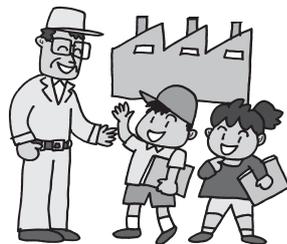
対象...どなたでも、小学4年生以下は保護者同伴  
指導者...野間直彦さん(滋賀県立大学環境科学部専任講師)

参加費...無料

持ち物...飲み物、帽子、雨具(雨天の場合)、歩きやすい服、筆記用具

主催...環境基本計画推進会議「水と緑・安心の野洲」緑の推進委員会、市街地整備課、環境課

申し込み・問い合わせ...11月13日 午後5時までに、住所、氏名、年齢、連絡先(電話・ファクス)を市街地整備課 587 - 6324、勳586 - 2176



# ～子どもに安全をプレゼント～ 子どもの事故予防教室

ちょっとした気配りで防ぐことのできる子どもの事故。救急救命士や保育士と一緒に「子どもの安全をプレゼント」する方法を学びましょう。応急処置の実技もあります。

日時...12月2日 午前10時～11時30分

会場...野洲健康福祉センター(辻町433-1)

対象...乳幼児とその保護者、先着30人

持ち物...筆記用具、母子健康手帳、わが家の安心ガイドブック(お持ちの方)

申し込み・問い合わせ...11月4日～21日に野洲市子育て支援センター 518 - 0830、勳518 - 0831

# (汚泥再生処理センター) グリーンハットを 一般公開します

広く住民の皆さんに汚泥再生処理センターの業務内容を理解していただくために、施設の見学会を開催します。自由に参加体験できる「処理水をよりきれいにする」ミニ実験コーナーを設けています。

日時...11月8日・9日 午前9時～午後4時

会場...湖南広域行政組合環境衛生センター(草津市集町404-1)

その他...処理工程から生成された、し尿汚泥焼却灰のサンプルを希望により配付します。(肥料登録済ですので、土壌改良や園芸用肥料として利用できます)また、し尿焼却灰を利用して栽培した「さつまいも」を配付します。(数量限定)

申し込み・問い合わせ...湖南広域行政組合環境衛生センター 568 - 0251、勳568 - 3484

# し尿汲取日程

汲取予定日に留守になる家庭は隣近所に頼んでおいてください。  
土・日曜日、祝日は休みです。  
野洲・三上・北野・祇王・篠原学区については、汲取の必要な場合は予定日の2日ほど前から②の赤い旗を作業員の見える所へ出してください。旗が出ていないときは、汲取はできません。  
汲取の申し込み・支払いは、直接業者へ。  
問い合わせ...環境課 589 - 6431、勳589 - 5069

汲取予定日	行政区および字名
4日～6日	比留田
10日	西河原・吉地
11日	乙窪・北比江
13日・14日	比江・松林
17日	吉川・菖蒲
18日	六条
20日	井口・堤・安治
25日・26日	須原・野田・五条
28日	虫生・木部・八夫
【近江美研】 589 - 4870、勳589 - 2759	

汲取予定日	行政区および字名
4日・5日	久野部・竹生・北野一丁目
7日	富波甲・富波乙・五之里
10日	辻町・上永原
11日	上町・下町・上屋
13日	江部・中北・北
17日	小南・高木
18日	篠原駅前・長島
20日	成橋・街道
25日	入町・大篠原東町・大篠原西町
27日・28日	小堤
【近江美研】、勳同左	

汲取予定日	行政区および字名
4日・5日	大畑・七間場
6日・7日・10日	行畑・野洲
11日～13日	小篠原・桜生・駅前
14日・17日	市三宅・妙光寺
18日～20日	三上
21日・25日	北桜・南桜
26日～28日	五反田・山田・縄手・樋ノ尻・稲辻・富波南
【奥村興業】 587 - 0015、勳587 - 0352 フリーダイヤル 0120 - 424110	

# 歴史の小窓

—学芸員のメッセージ—

歴史民俗博物館

⑤0

☎587-4410、Fax587-4413

友の会20周年記念事業「こどもの広場」  
12月7日 午前10時～正午 / 紙芝居・姫傘  
づくり・展示見学

弥生の森歴史公園の落ち葉をゆずります。  
開館日に博物館受付へ

小泉武寛（ casting 工芸作家 ） casting 銅鐸ギャラリー展示  
11月9日 まで

第14回部落史学習会「近代の部落史に学ぶ」

日時...12月7日 午後2時～4時

講師...秋定嘉和さん（大阪人権博物館長・京都部落問題  
研究資料センター所長） 事前申込不要・無料

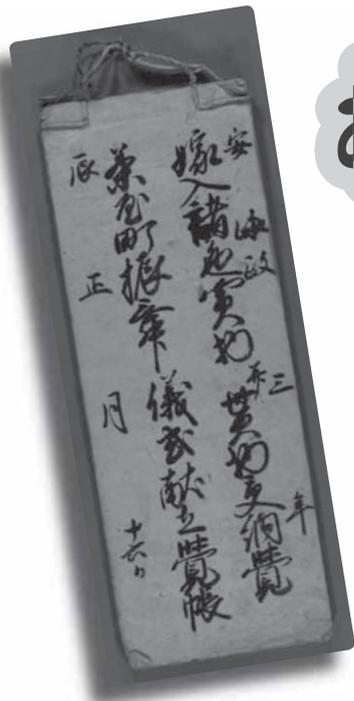
歴史入門講座（博物館学芸員がお話しします）

・野洲の祭りと年中行事 / 行俊勉 / 11月15日  
午後2時～3時30分

・近江天保一揆 / 古川与志継 / 11月29日 午後  
2時～3時30分

## むらの付き合い

～江戸時代の婚礼記録から～



婚礼の記録（安政3年）

現代の結婚式は、神社や教会、寺院などで行われるほか、ホテルや式場など、色々な場所で行われています。しかし、以前は自宅に親類や近所の人を招待して宴席を設ける形が一般的でした。そのような婚礼のようすを記憶されている方もおられることと思います。

では、さらに以前はどのように行われていたのでしょうか。

博物館で調査させていただいた古文書の中に、江戸時代の婚礼の様子がわかるものが残っていました。今回は古文書からわかる江戸時代の婚礼と村のつきあいを紹介します。

1856（安政3）年のもので、表紙に「嫁入諸色買物并買物受納覚 茶屋町振舞儀式献立覚帳」と書かれています。嫁入りに必要な買物、お祝いやお返し、振舞いの献立などを

記録した帳面です。ここに記された「振舞」とは、嫁入りのある家で親族や近所に酒食を振る舞うことです。ではこの帳面に書かれた内容を見ていきます。

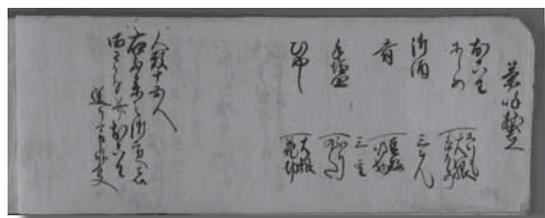
まず、最初に献立が書かれています。その項目は、親類中振舞献立・御方献立・茶呼献立・若連中献立・にわはき献立、の五つです。親類中振舞献立とは、婚礼当日に親類を招いた披露の宴を指します。献立の内容は、「御飯」・「おけ」・「平」・「膾」・「魚」・「御酒」・「さかな」、と書かれています。本膳料理が出されたことがわかります。次に書かれた御方とは、招待者として八名の名と寺院名が書かれていますので、近所の人を呼んで披露した宴を指したようです。その他にどのような人を招待していたのかを簡単に説明します。茶呼は婚礼の翌日の午後、婿方の家で嫁の母親・嫁・仲人が出席して婿方の親類の女性を招いて宴をすることをいいます。若連中とは村の若者を呼ぶ披露の宴、にわはきとは一般的には打ち上げを指すことが多く、これで一連の披露が終了する席のことを指すのでしよう。このように村

の人を呼んで振舞いをするということから、婚礼という行事が新たな村の一員に加入するため儀式であったことがわかります。

振舞いの他に、町なみおこわだし・他所おこわだし、という項目も書かれ、おこわを送った先の人名が書かれています。町なみは村の近所のこと、他所は他村のことを指します。

また、「ため銭」という項目もありました。ため銭とは元々は贈り物をもたらした時にそのお礼として元の容器に入れて返す銭のことをいいます。このため銭の風習は、近畿地方では婚礼のお返しに渡す「おため」として現在も残っています。

このように江戸時代の婚礼は、親戚や村という共同体へ加入する重要な儀式でしたので、詳細な記録を残して、次の婚礼の参考としたのです。（歴史民俗博物館調査員 吉川邦子）



茶呼の献立